

# 第17回 全日本学生ドイツ語弁論大会 実施要項

## 記

- 日 時： **2016年(平成28年)12月3日(土)** 午後1時00分より
- 場 所： 京都外国語大学 171 教室
- 主 催： 京都外国語大学
- 後 援： 大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、オーストリア大使館、ゲーテ・インスティトゥート  
大阪、ドイツ学術交流会(DAAD)、京都日独協会、在日ドイツ商工会議所、毎日新聞社
- 協 賛： ルフトハンザ ドイツ航空、(株)郁文堂、(株)三修社、(株)同学社、(株)朝日出版社、マンハイム大学、  
ドレーズデン工科大学、チューリヒ大学、ザルツブルク大学
- 出場資格： 大学・短期大学在籍者(大学院生および科目等履修生などを除く)で、原則として  
以下のいずれかに該当しない者
  - 1) ドイツ語を母語とする者
  - 2) ドイツ語で授業を行う教育機関(小、中、高等学校)に1年以上通った者、もしくはドイツ  
語圏での在住が通算で1年を超える者

※ドイツ語圏に、留学などの在住歴のある者は、当日パスポート(原本)を持参すること。
- 演 題： 自由(但し、本人によって作成された未発表のものに限る)
- 制限時間： 5分間
- 申込締切： **2016年10月8日(土)午後5時**(電子メール必着)  
メール本文に以下の内容を全て記し、[doitsu-benron@kufs.ac.jp](mailto:doitsu-benron@kufs.ac.jp) 宛にお申し込みください。
  - \*氏名(漢字とローマ字)
  - \*年齢・性別
  - \*住所、緊急連絡先(携帯電話、メールアドレス)
  - \*所属大学名・学部・学科・学年
  - \*弁論の演題(日本語とドイツ語)
  - \*日本語の弁論要旨(1,000字以内)<後日、プログラム作成時に使用>

※弁論要旨は Word 文書等でメールに添付すること。

- 原稿審査：応募者が多数の場合は、ドイツ語の原稿による事前審査(11月上旬)を行う。その際、出場者の人数を一校あたり上限3名とする。ドイツ語原稿の提出時期は、「原稿審査のお知らせ」のメールで指示する。
- 申込受理：申込メールに対する返信をもって申込みを受理する。申込み後2週間を過ぎて受理のメールが届かない場合は、必ず下記の問い合わせ番号に電話連絡を行うこと。
- 入賞選考：以下の選考方法により、弁論の結果を総合して入賞者を決定する。
  - \* 弁論の内容
  - \* 表現力
  - \* 発音
  - \* 暗記力(大会当日はプロンプターをつけるが、暗記を前提とする)
  - \* 二次審査(弁論直後に、審査員との簡単な質疑応答を行う)
 等
- 審査員：大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館(1名)、ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川(1名)、(予定) ゲーテ・インスティトゥート大阪(1名)、ドイツ学術交流会(DAAD)(1名)
- 副賞賞品：ドイツ往復航空券、HSK奨学金(DAAD)、国内語学研修(ゲーテ・インスティトゥート)、(予定) ドイツ関連書籍、QUOカードなど
- 交通費：近畿地方2府4県(大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県)を除く遠方からの出場者には、現金(上限2万円)で支給される。ただし、利用交通機関のチケットあるいは領収書(コピー不可)が確認できない場合は、いかなる理由であろうと支給は行わない。乗車券の購入に際しては、学生割引など各種割引を利用すること。なお、大学の所在地が上記2府4県である限り、当日どのような交通ルートであっても支給は行わない。

お申し込み／お問い合わせ先



〒615 - 8558 京都市右京区西院笠目町6  
京都外国語大学ドイツ語学科

E-mail: [doitsu-benron@kufs.ac.jp](mailto:doitsu-benron@kufs.ac.jp)

TEL: (075) 322 - 6157・6155 (大会実行委員：筒井)



本学は2017年に  
創立70周年を  
迎えます。



ドイツと日本  
Zukunft gestalten  
ともに未来へ



GOETHE  
INSTITUT

DAAD



オーソリア文化フォーラム